

安原伸 監督 3作品一挙上映

「日本」は
見えてくるでしょうか？

「昭和」は
見えてくるのでしょうか？

明治天皇宇宙の旅 (1988年)

昭和の残照 (2017年)

昭和九十年

栗林白岳かく戦えり

(2016年)

栗林氏は栃木県那須町に、15,000点に及ぶ戦争関連の展示「戦争博物館」と称する施設を設立し館長を務めています。また毎年東京で軍歌・軍楽・軍装の一大イベントを催しています。これは旧帝國陸海軍の軍楽隊コンサートとして始められたイベントで、形を変えながら2016年現在まで続いています。一般的には「終戦記念日に靖国神社に乃木大将の軍装で現れる人」として有名です。

映画話 #14

映画を観た後に仲間や監督などゲストとグラスを傾けながら話し合う。それはDVDでもネットでも味わえないダイナミックで貴重な体験です。映画について人と語り合い、その意見の多様さに直接触れる豊かさ。自宅のようにくつろげるバーで、お酒に美味しいお料理も。静かに耳を傾けるだけでもいい。来れば何かが変わるかも。



2017 6/24(土) 3作品一挙上映 15:00

開場15分前、上映後、同会場で懇親会

懇親会 17:00 1時間

入場料: ¥1,000 (定員20名)

懇親会(別途希望者): ¥1,500

ゲスト: 安原伸 監督

会場: シネマカフェバー モンキーランド
多摩市豊ヶ丘1-11-1(小田急・京王多摩センター駅から徒歩15分)

または 050-5891-1977 office@taenoha.com

お申し込みは、予約フォーム www.taenoha.com

主催: たえのは



たえのは



/taenoha



@taenoha

映画と話 @TAMA #14

2017年 6月24日(土)

タイムスケジュール

- 15:00 『明治天皇宇宙の旅』 (16分)
- 15:20 『昭和の残照』 (6分)
- 15:30 『昭和九十年-栗林白岳かく戦えり-』 (82分)
- 19:00 懇親会 1時間 安原 伸 監督

懇親会ゲストプロフィール

安原 伸 (やすはら・しん) 監督

兵庫県出身。神戸大学理学部卒業。
 大学在学中に「特殊撮影研究同好会」を結成。8ミリ特撮映画を製作し、活躍した。
【フィルモグラフィ】
 「明治天皇宇宙の旅」(1988年)
 神戸大学特殊撮影研究同好会で製作した作品。文化庁主催の第3回国民文化祭において、映像部門大賞を受賞。
 「ライダー神風」(1988年)
 『国防挺身隊』シリーズ (1991-1993年)
 TBSの「三宅裕司のえびぞり巨匠天国」向けに製作された作品。
 「わたしのあしながおじさん」(1992年)
 ビジネスジャンプ・CINEMAだいすき映像大賞グランプリ、第4回ゆうばり国際ファンタスティック映画祭において、オフシアター部門の審査員特別賞を受賞。
 「ぼくのスカイライン」(1993年)
 日産自動車が当時の新型スカイライン発売にあたって企画した「スカイライン映像大賞」に応募すべく製作した作品。第5回ゆうばり国際ファンタスティック映画祭において、オフシアター部門の審査員特別賞を受賞。
 「伝えられたら」(1993年)
 ビジネスジャンプ・CINEMAだいすき映像大賞準グランプリ、ビクター東京ビデオフェスティバル奨励賞を受賞。
 「はにわマン」(1994年)
 第6回ゆうばり国際ファンタスティック映画祭において、オフシアター部門のグランプリを受賞。

『明治天皇宇宙の旅』(1988年)

神戸大学特殊撮影研究同好会自主製作映画。
 第3回国民文化祭映像部門大賞受賞。
 明治天皇は忠臣である乃木希典に命じ宇宙船を製作、宇宙の旅に出発した。8mm特撮 S F スペースオペラの金字塔？！
『昭和の残照』(2017年)
 「明治天皇宇宙の旅」は、かつて特撮ファンのメッカだった伊丹映画祭でグリーンリボン大賞を受賞。映画のメイキングと当時の受賞風景、「ゴジラ」本多猪四郎監督ほか懐かしく貴重な映像。

会場:シネマカフェバー モンキーランド

多摩市豊ヶ丘1-11-1

道順: 小田急・京王多摩センター駅 東口から徒歩15分

東口を出て右手、新宿方向に線路沿い(高架下)を直進。信号を2つ渡り、「麺でる」を左折、乞田川 沿いを右折。2つの橋を過ぎて3つ目の橋の手前、白い階段が入口です。

お申し込みは、予約フォーム www.taenoha.com

主催:たえのは  たえのは



撮影・編集・監督: 安原 伸

キャスト(登場人物): 栗林白岳(那須戦争博物館館長) ぶで/井郷賢吾/田母神俊雄

進行: 伊澤恵理/車両: 丸山新祐/制作指示: 大野和寿
 整音: 佐藤京子(TRC)/漫画: ビッグ錠/音楽: Kyaa
 ナレーション: 沢田敏子
 2016年制作/HD/82分



過去の軍楽・軍装の会

那須戦争博物館 栗林白岳館長より

私は大東亜戦争の終戦を満州でむかえ、シベリア抑留生活を経て帰国しました。

当時と比べると現在は何と平和な時代であるか。こんな平和な時代が永遠に続けば何と喜ばしい事か。人々の願いは皆同じだと思います。しかし、過去に大変激動な時代がありました。私はその時代を生きた一人の日本人です。(中略)

このままでは、当時を懸命に生きていた日本人の想いが消えてしまい、日本の歴史に断絶が生じてしまう。私は、そういう危機感を持ち、何とか当時の様子を伝えるため私財を投じ、遺品となった兵器や軍装、偉人達の墨書や手紙、又、当時の日用品等を買集めました。それを展示しているのが「那須戦争博物館」です。



または 050-5891-1977 office@taenoha.com

たえのは  /taenoha  @taenoha 